



ながす議会だより No.136

朝日

よい
い
どん!



平成30年 第4回(12月)定例会

一般会計補正予算等

②～⑤

一般質問 9人が登壇し町政を問う

⑥～⑭

建設経済文教常任委員会研修報告等

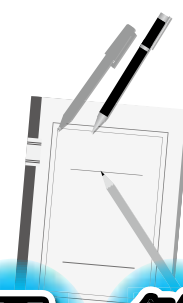
⑮

第43回長洲マラソン大会



第4回定例会

12月10日～14日(5日間)



一般会計補正予算

町長から提案された条例の一部改正、補正予算、人事案件を慎重審議し、全て原案のとおり可決した。

一般質問は9人が行い、さまざまな角度から町の姿勢をただした。

主な歳出

1 町有地ブロック塀解体工事 129万円

町有地に設置された危険ブロック塀の解体事業費

2 ふるさと納税事業 493万円

ふるさと納税の歳入見込増に伴う経費等

3 総合行政システム開発(変更)委託事業 103万円

新元号対応のためのシステム改修

4 熊本県議会議員選挙事務 227万円

平成31年4月7日に行われる熊本県議会議員選挙の準備行為等に伴う費用

5 農業施設整備事業補助 100万円

高田^{せき}堰の改修事業に対する補助金

6 第二腹赤地区土地改良事業(区画整理)負担金 900万円

県事業に対する負担金の追加分

7 長洲港地方港湾改修事業負担金 440万円

県事業に対する負担金の追加分

8 都市計画事業負担金 360万円

県事業(都市計画道路 長洲玉名線)に対する負担金の追加分

9 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 ①103万円・②189万円

当初の見込みより認定者数が増加

平成30年度特別会計補正予算の主な内容

国民健康保険特別会計

補正前の額.....23億188万円

補 正 額.....153万円

総 額.....23億341万円

主 な 内 容 保険基盤安定繰入金の増額



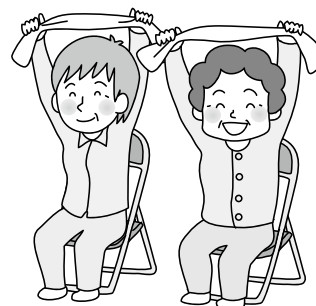
後期高齢者医療特別会計

補正前の額.....2億511万円

補 正 額.....▲196万円

総 額.....2億315万円

主 な 内 容 保険基盤安定繰入金の減額



ながす未来館の指定管理者の指定

施 設 の 名 称 ながす未来館

指定管理者となる団体 株式会社 舞台風

指 定 の 期 間 平成31年4月1日～
平成36年3月31日



一般会計 補正予算

一般会計補正予算
の専決処分の承認

【内容】

損害賠償請求控訴事
件の弁護士業務委託費用
を専決処分したもの。

歳入

総合賠償補償保険金
85万8000円

歳出

控訴審弁護士業務委託料
108万5000円

問 (磯野議員)

町が敗訴の場合ど
うなるのか。

答 (総務課長)

結果についての取
り扱い全般について検
討を考える。

一般会計補正予算 (質疑)

問 (大森議員)

平成29年度の後期
高齢者医療負担金精算
が2000万円あるが、
9月議会の前年度の決
算に入れるべきではな
いのか。

答 (福祉保健介護課長)

5月の出納閉鎖後
に29年度分が確定し、
その後10月の広域議会
を経て、町に通知があ
るので12月議会で補正
する。

問 (大森議員)

地方自治体の決算
について、確定後に補
正があるのは総務省も
認めているのか。

答 (福祉保健介護課長)

決算でタイミシング
のずれが生じている点
で、総務省の確認はと
れていないが、広域の
制度上このやり方であ
る。

問 (福永議員)

公債費の元金に追
加がある。どうい
うことか。

答 (総務課長)

今回の補正は、平
成19年度に借りた臨時
財政対策債の利率見直
しが要因であり、利息
が減った分、利子額が
下がりその分を元金前
倒しするため元金が上
がっている。

問 (磯野議員)

長洲港の改修で図
面とイラストは、県の
資料をそのまま出した
のか。

答 (建設課長)

県のものをそのま
ま引用している部分も
ある。



金魚のカフェテリア

人事案件

固定資産評価 審査委員



中尾 精徳氏

任期 平成30年12月～
平成33年12月

熊本県後期高齢者医療 広域連合議会議員



福永 栄助議員

「本町においてさま
ざまな問題、財政的問
題がある。問いただし
たい。」と登壇後述べ
られました。

条例

改正など

一般職の職員の給与に関する条例の改正

【内容】

人事院勧告に準じた職員給与の適正化を図るため。

【問】
(大森議員)

55歳に達した職員は昇給がない。しかし、極めて優秀な方は、この限りではないとの説明だが客観的に評価できる基準はあるのか。

【答】

(総務課長)
評価自体は点数化している。

金魚と鯉の郷広場
条例の改正

【内容】

金魚のカフェテリア
行政財産↓普通財産

※行政財産とは

公用または公共用に供し、または供することと決定した財産をいう。

※普通財産とは

行政財産以外は一切の公有財産をいう。
貸し付け、交換、売り払い、譲与、出資の目的、私権を設定する事が出来る。

熊本県市町村総合事務組合規約の変更

【内容】

「地方独立行政法人くまもと県北病院機構設立組合」から「くまもと県北病院機構設立組合」に名称変更。

審 議 結 果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…× 欠(退)席…欠

*議長は表決に加わりません。

議案番号	件 名	前田 美和子	中川 雅 明	福本 みや子	大森 秀 久	竹本 信 次	荒木 睦 子	磯野 博	浦邊 朝 章	宮本 哲 太 郎	濱村 芳 光	福永 栄 助	松井 一 也	濱崎 久	徳永 範 昭
承認 第 3 号	平成30年度長洲町一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
議案第29号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
議案第30号	長洲町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	金魚と鯉の郷広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	平成30年度長洲町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	平成30年度長洲町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	平成30年度長洲町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	平成30年度長洲町水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	ながす未来館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意 第 3 号	長洲町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



竹本信次議員

これからの「まちづくり」をどうする

答 都市計画道路の早期整備を図りたい

問 「みなと」周辺をにぎわいのある交流拠点として整備し、南関インターと長洲港や名石浜工業団地を結び、観光・物流面で重

答 要な「赤田・上沖洲線」を整備していくことが、これからのまちづくりではないか。

答 (町長) 県への要望活動を



都市計画道路の早期整備を

行い、国道208号以南の道路整備の検討会が設置され、早期着工に向け県、荒尾市、長洲町の三者で協議を進めている。本町や周辺市町の発展に欠かせない重要な道路として、早期整備を図りたい。

問 有明海沿岸道路(大牟田～長洲)延伸の早期着工に向けた国への要望活動により、長洲までの延伸整備計画は、どうなっているか。

答 (町長) 三池港ICから荒尾競馬場跡地までは平成27年度から着手され測量、調査設計、用地買収と進んでいる。長洲町までの延伸については新規事業採択まで至っていない。国直轄

による早期整備に向けて要望していきたい。

問 向野・平原線道路整備は今年度で完了する。完了後、腹栄中学校西側の住宅増加により、さらに利用者が多くなっている赤田・腹赤線の道路改良を行うとなっていたが、この道路改良整備計画は、どうなっているか。

答 (町長) 清源寺地内の住宅地から町道向野・平原線まで接続する町道赤田・腹赤線の道路整備状況は、町道向野・平原線との交差点付近から安全面を考慮し、約40mを部分的に拡幅している。町道赤田・上沖洲線の整備計画を見ながら、できるだけ早く実施したい。

「みなとオアシス」構想はどうなった

答 「みなと」をにぎわいのある交流拠点として整備したい

問 みなとオアシス構想の一環として、5年間取り組んだ長洲西地区整備事業の約7割は、金魚と鯉の郷の整備事業である。有明海に沈む夕日を見ながらナイトクルージング等「みなとまち」らしい景観を楽しめる場や、にぎわいのある交流拠点とした「港づくり」は、どうなったか。

答 (町長) 有明海の「みなとまち」らしい景観の視点が



港の道の駅「みなとオアシス」を



神楽は私たちが伝えていきます

問 長洲町の伝統文化を継承するため、学校行事の文化祭等において、地域の方々と協働して取り入れるの

答 (教育長) 長洲町の伝統文化を継承することは大切な地域の財産である。総合学習



荒木睦子議員

長洲町の伝統文化を子どもたちに継承を

答 総合学習の時に体験学習など触れ合う機会をもっている

保健師の取り組み状況は

あらゆる疾病の

予防を目指した保健指導

問 長洲町には正規職員

答 町のさま

問 さまざまな行

答 (福祉保健

問 町のい

答 (福祉保健

問 家庭訪問や保健指

答 (福祉保健



私たちは健康の味方

難所の対応として、2名体制で巡回を行い、血圧測定や健康状況の確認や相談を受け、町民の皆様の不安の軽減に努めている。



磯野 博議員

個別計画策定の中に中学校統廃合検討は

答 財政面からだけの検討は難しい

問 町公共施設等総合管理計画書によれば、今後38年間、2056年までに町のインフラ施設整備に約618億円の更新費用が

発生する。厳しい財政状況のもと、このような巨額な費用をどうやって捻出するのか。町はどのようにして対処していく考えか。

答 (町長) 公共施設等マネジメント更新を設定し、将来人口や利用者数、将来財源を鑑み、事後保全型管理から予防保

全型管理へ移行するとともに、更新の際には施設の複合化、集約化等による設置総量の縮減などの方策に取り組み、長期的な視点で対処していきたい。

問 計画書の費用予測では下水道の更新と学校施設の更新に多く費用が見込まれているようだが。

答 (総務課長) 6校維持管理には大きな費用がかかると思っている。6校必要となれば町事業全体の中で優先順位をつけないが予算を作っていく形になる。

問 計画書の費用予測では下水道の更新と学校施設の更新に多く費用が見込まれているようだが。

答 (総務課長) 32年度まで策定の計画を立てている。学校施設の統廃合といった思い切った考えが必要ではないか。

問 個別計画策定と同時に並行して統廃合の検討が必要ではないか。

答 (総務課長) そのとおりだ。

問 更新費用の大きな部分だがどのような検討が町はできるのか。

答 (総務課長) 効果額等の試算については、今後並行して進めていくことになると思うが、統廃合自体の検討については個別計画後になるかもしれない。財政面からだけの統廃合検討はなかなか難しいと考える。

問 部分だがどのような検討が町はできるのか。

答 (総務課長) 教育現場のあり方や、児童数の推移、財政の見直しもあるが、そのさまざまな面から判断しなければならないと考える。

問 学校施設6校を維持して本町は存続できるのか。統廃合を避けて将来的に対応できるのか。

潮さい (H31.2.15 No.136)



計画書によれば2056年までに618億円更新費用が発生する

問 このまま行けば、町の運営ができません。

答 (総務課長) 長寿命化による縮減であったり、適正規模への見直し等の検討は必要と考えている。

問 学校施設6校を維持して本町は存続できるのか。統廃合を避けて将来的に対応できるのか。

8



パラリンピック出場を応援しよう



浦邊朝章議員

本町出身の東京パラリンピック出場候補選手の応援会を 答情報交換を図り検討したい

問 NHK大河ドラマ「いだてん」に玉名市・和水町にゆかりある金栗四三さん（マラソンの父）が決定し脚光を浴びている。

か何う。

答（教育長）長洲マラソン大会は今回で43回になる競技性の強い大会であるが、フレンドリーシップ部門を設けタイムを気にせず、誰でも気軽に参加できるようにしたい。

本町でも長洲マラソン大会等、スポーツの振興に繋がってほしい。

本町でも長洲マラソン大会等、スポーツの振興に繋がってほしい。

た。さらに競技内容も含め関係各所と協議を重ねていきたい。

問 東京パラリンピック候補に本町出身の島川慎一氏がウイッチェアラグビー選手として上がっているが、応援会の設立や支援金の募集等行っているか何う。

答（町長）島川選手は、前回のリオデジャネイロ大会で銅メダルを獲得された後、2016年母校腹栄中学校で講演会及び町表彰式を開催し同校の生徒、六栄・腹赤小学校の5・6年生及び近隣住民の方に貴重な体験談を話され、獲得された銅メダルを披露された。応援会設立や支援金の募集につ

いて、町として今後、関係各所と情報交換を

外国人技能実習生の現況は

答 ごみ出しに関する

マナー違反などある

問 本町における技能実習外国人の現況はどのようになっているか。

答（町長）11月末で477名の外国人が在住、国籍はベトナム、フィリピン、中国等、産業別は船舶製造業、アルミサッシ製造業、農業の順、住まいは、住宅、アパートや賃貸住宅。住民登録も必要。近隣住民とのトラブルはごみ出しに関するマナー違反などが地元区長さんへ

上がっている。
問 在留カードの確認はどうしているか何う。

答（住民環境課長）在留カードで生年

月日・国籍・在留期間。在留資格等確認している。
問 外国人技能実習生の滞在期間は何年まで可能か何う。

答（住民環境課長）一号で1年、二号で2年、三号で2年で通算で5年まで滞在できる。

特定技能一号の場合、最長5年までだが、特定技能二号の場合、期限に制限がない。



ごみ出しカレンダー
(マナーを守ろう)



濱崎 久議員

長洲中学校暴力事件の真相を問う

答訴訟中で答弁を控える

問 平成30年9月15日、複数の新聞報道によれば、町は存在しない」とされていたアンケートが一転して別の訴訟に証拠提出していたことが、関係者への取材で判明したと報じられた。

これまでアンケートも記録もないとの公式答弁をしてきた町は、報道どおりとすればだました理由は何か。

答 (学校教育課長) 訴訟中で答弁を控える。

問 それでは新聞報道はウソだったというのか。

答 (学校教育課長) 新聞記事はウソではない。

問 新聞は、当時の校長が担任からアンケート結果の報告を受けて作成したメモを提出したと報じている。アンケートも記録もないと言ってきたことも併せてウソだったのか。

答 (学校教育課長) ウソではない。裁判の過程において出てきたものを、誠実に対応してきたわけである。

問 資料があったことはいつわかったか。

答 (学校教育課長) 原告から請求があつて5月に調査した。証言は2月7日にあつているのに、原告から請求がなかった。

たら無視するつもりだったのか。

答 (学校教育課長) 何度も繰り返しになるが、裁判を行う中で対応してきたものである。

問 だました理由は何か。町民に知らせたくなかつたからか、町はアンケートも記録もないとしている、それが2月7日、校長の証言でわかつたのなら、その時点で答弁の訂正をすべきではないか。

答 (学校教育課長) 何回も申し上げているが、裁判を行つていく過程の中で調査して発見されたものである。

問 新聞報道される前日、このことを質問したとき、なんであ

りましたと本当のことを言わなかつたのか。

答 (学校教育課長) 校長と相談した上で対応した。

問 教育長は、このアンケートの資料を見て決裁したのか。

答 (教育長) 議会にご報告が遅れたことについては本当におわびする。

問 義務教育の名のもとに、親は子どもを学校に預けている。授業中の教諭は、事件の瞬間を見落としていた。親は心配である。学校教育は、学校の中で、子どもを安全に守り、安全な教育ができるような、そういうシステムを作るべきではないか。



長洲中学校



福を呼ぶ門松づくり「古城区」



前田美和子議員

ものづくり事業の更なる推進を

答キット工場を作り上げていけば活性化につながる

問 平成24年度より、ものづくり事業を実施している。現状を伺う。

答 (町長)
金魚の館でのもの

づくり教室やフェアを開催、また、介護予防拠点、小学校、保育所、幼稚園で幅広く行い、木の良さを認識を高めている。

問 金魚の館での参加者と観光面での現状は。

答 (まちづくり課長)
ものづくり教室が29年度まで2639名、フェアが2万4000名の参加、効果としては、ものづくりを通して世代間の交流が図られPRにつながっており来場者も増加している。

問 介護予防拠点におけるものづくり事業の参加者と成果は。

答 (福祉保健介護課長)
参加者は平成27年度より1781名。成果は、活動実績が伸び要介護認定率の低下及び介護保険給付費の抑制につながっている。

問 木育推進員の数と活動状況は。

答 (まちづくり課長)
183名いる。ものづくりフェアでの指導及び地域活動のリーダーとなっている。

問 立野地区では、ヒノキのチップを使って素晴らしい作品づくりが行われている。他の地域にも広げる考えはないか。

答 (福祉保健介護課長)
大きな成果の一つと考える。他の地域への支援の形を検討していく。

問 小学校や保育園などにおけるものづくり活動の状況とその成果は。

答 (学校教育課長)
ふるさと塾において実施。116名参加している。木のぬくもりに触れ、作り上げる

喜び、やり遂げる大切さを学んでいる。

答 (子育て支援課長)
六栄保育所では、ミニカーの製作を行っている。集力作る楽しさを覚え、満足感に満ちあふれた様子である。

問 ものづくり事業は多くの成果をもたらしているが、将来的に継続していく為には安定したキットづくりが必要では。

答 (町長)
木育推進員と地域が連携する



ひのきチップが素敵なインテリアに!!「立野区」

ことがものづくりの発展につながる。そのためにも安定したキットづくりが必要であり長洲町でキット工場的なものを作り上げていきたいと考えている。



中川雅明議員

通学路、危険箇所安全対策は

答グリーンベルト施工を前向きに検討する

問 通学路の安全対策のひとつとして、グリーンベルトは施工が簡単、安価である。ドライバーの視認性に

訴える。歩行者は、目に安全に歩くことができる。近隣の市町村においても近年広まっている。この施工法、

取り入れてはどうか。

答 (町長) 大牟田市を視察してきた。本町の子どもたちや町民の方が歩くとき、グリーンベルトは必要と思う。予算の範囲内ではあるが、設置していく。

問 信号機がない小中学校近くの横断歩道。黒色で塗装されていない部分にも、グリーンベルトを施工され

ては。

答 (建設課長) 視認性を高めるには、カラー舗装は有効な手段。町内にも通行量の多い箇所には、施工済十数カ所ある。しかし、緑色ではない。学校周辺、交通量、色等、検討し実施に向け検討する。

長洲中での自転車通学

本町の安全指導は

答 PTA、学校と連携し、

取り組んでいく

問 長洲中において、保護者の要望によりモデル地区として自転車通学が始まった。生徒への安全指導は。

答 (教育長) 4月からの実施に向けPTA、学校と連携し、情報交換を交えながら生徒が無事故で登下校できるよう取り組む。

答 (総務課長) 防犯灯の設置、L

※グリーンベルト
交通事故防止を目的にドライバーが車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるように設置するもの。



登校中の様子(小学校)



自転車通学の様子(中学生)



温かなふれあいで笑顔がいっぱい!



福本みや子議員

世代間交流で町を活性化させるには

答教育委員会と各課が積極的に交流を支援していく

問 げんきの館での世代間交流は。

答 (福祉保健介護課長) 毎月げんきの日を設けこどもの海保育園児と相互訪問してい

る。腹赤小4年生も訪問している。子どもの声が高齢者に活力を与えるなど大変好評で、今後増やしていきたい。

問 中学校での世代間交流はあるのか。

答 (教育長) 授業の一環で生徒が卒園した園での保育体験をしている。教室では見られない素晴らしい表情が見られる。働き盛りの卒業生によるキャリア教育講話が始まった。進路決定に役立つだろう。聴く態度なども良く、更に充実させていきたい。

問 各種団体は高齢化の変化などで会員が減少し活動に活気が見られない状況だ。子ども会運動会と老連運動会を発展的合同交流会にするなども今後考えられるのではないか。

各種団体間を取り持ち課題を共有し合い幅広い情報交換の場を創る支援をしてほしい。

答 (生涯学習課長) 個別の会議に出向き活動状況や課題、悩

みなどを集約し、関係団体同士の情報交換の場を持つよう検討したい。

協働のあるまちづくりに参加を促すには

答 丁寧な説明で町民との共有や理解を深めていく

問 協議会、審議会には多種多様な人材が必要だ。女性の登用は進んでいるか。

答 (総務課長) 36・1%で県下2位となっている。

問 出された意見は協議に反映されているのか。

答 (総務課長) 地方創生事業の数値目標や事業内容の見

直しなどに反映させている。顔の見える関係が出来、提案も戴いている。

問 若い世代の将来的視点や新鮮な感性をまちづくりに期待したい。

答 (総務課長) 組織の目的に合った人選を進めているが、勤務の都合上若い世代の参加がない状況だ。



まちづくりに君たちの力が必要だ

問 次世代を育てるため、行政に関心をもち意見や考えを話せる環境づくりや、委員任期終了後も参画意識を持ち、まちづくりへつなげる工夫が必要だ。

答 (総務課長) 公募を積極的に行いたい。提言やプランなどに感謝を伝え、町政に参加してもらうよう各課と検討する。



大森秀久議員

歯科口腔健診に力を入れるべき町の考えは

答生活習慣病にも影響があり、非常に重要と認識している

問 健康管理の上から歯科口腔健診に力を入れるべきと思うがどう考えるか伺う。

答 (町長) 糖尿病や心臓病などの生活習慣病にも影響があることから、非常に重要であると認識している。

問 後期高齢者の健診には歯科検診が入っているが、特定健診にも歯科検診を検討できないか。

答 (福祉保健介護課長) 歯科については、来年度予算の議論をしており、何か事業化できないか検討段階に入っている。

災害発生時の

発達障がい者の避難の現状は

答 命の安全を確保し

必要に応じ福祉避難所へ

問 災害発生時の発達障がい者、発達障がい者の避難の現状はどうなっているか。

答 (町長) まずみずから命の安全確保のため、指定避難所へ避難していただく。その後必要に応じ、福祉避難所へ移動することになる。

問 熊本県には北部と南部、熊本市に発達障がい者支援センターがあり、そこから市町村の担当者に発

達する。熊本市に発達障がい者支援センターがあり、そこから市町村の担当者に発

青少年にクラシックの

演奏会ができないか

答 多額の費用が見込まれ、指定管理者と検討したい

問 さまざまな機会を利用して、青少年向けにクラシック音楽の演奏会を催すことができないか伺う。

答 (教育長) クラシック音楽の演奏会となると、多額の経費が見込まれ、指定管理者からも提案がないが、今後協議したい。

問 未来館にはクラシック演奏に必要な反響板は備えてあるか。

答 (生涯学習課長) 反響板は備え

問 そうであれば色々企画できる。もともとピアノは備品としてあるが、ギター一本でも素晴らしい曲が聴ける。また、少額でも予算を確保し教室や体育館も含め考えられないか。

答 (生涯学習課長) 各学校からのクラシック音楽演奏会計画について、相談に対応できるよう検討したい。

【小中学校で学ぶクラシック音楽鑑賞曲《部分》】

学 年	作曲家	曲 目	ジャンル	作曲年代
小学5年生	エルガー	威風堂々	行進曲	20世紀
小学6年生	ホルスト	組曲「惑星」から木星	管弦楽曲	20世紀
中学1年生	ビバルディ	四季から「春」	バイオリン協奏曲	18世紀
	シューベルト	魔王	歌曲	19世紀
中学2年生 中学3年生	モーツァルト	レクイエムからラクリモサ(涙の日)	宗教曲	18世紀
	スメタナ	我が祖国より「モルダウ」	連作交響詩	19世紀
	ベートーベン	交響曲第5番ハ単調「運命」	交響曲	19世紀
	ロドリゴ	アランフェス協奏曲	ギター協奏曲	20世紀
	ショパン	エチュードハ単調「革命」	ピアノ曲	19世紀

*いずれも名曲ばかり生で聴く機会がないものか!

建設経済文教常任委員会

視察研修報告

平成30年11月6日(火)～8日(木)

沖縄県中城村

(1) 2018年から
学力向上などを
目的に小学生1
～3年生の学級
数を増やし、1
学級15人程度の
小規模学級の導
入を実施。



中城小、津覇小2校で7学級が増え、教員も7名増えた。

増員分は村独自に雇用、約3500万円の負担増となった。

(2) 中城村学力向上モデル事業 2018～2021年度(琉球大学と協力)

アンケート調査 児童数が小規模なほど、子どもに与える影響は良好なことが証明

沖縄県栽培漁業センター

(1) 沖縄独自の種苗生産技術により重要魚介類の放流及び養殖用種苗を量産・供給。

(2) 水産資源の保護・管理意識の啓発と養殖業の振興に努めている。

那覇市田原

小禄・鏡原学校給食センター

(1) 小禄学校給食センターは小学校4校、中学校2校の給食3600食を実施している。毎月19日は、食育の日で郷土料理や子どもたちの献立がある。所長以下30名(栄養士2名・調理員20名)で配食。

(2) 鏡原学校給食センターは、平成29年7月設置で2校へ1400食を実施している。同センターは、鏡原中学校の改築に併せて建設され、国の学校給食衛生管理基準に沿ったドライシステムが導入されている。調理場内は、汚染作業区域と非汚染作業区域を明確に区分し、食材の受け渡しは、パスカウンターなどで行い、衛生管理が徹底している。厨房機器も最新の機器が導入されている。所長以下14名(栄養士1名・調理員10名)で配食。

今回の視察研修を今後の本町の施策の参考にしたい。

追跡レポート あん質問はどがんなった

平成29年9月定例会議会 一般質問

質問 ①

17音で表現する俳句は日本語学習になると思うが、町の主催で俳句をツールにして、まちづくり、まちおこしに生かすことは考えられないか。

答弁 ①

今は俳句ブームで学校にも投稿や参加の知らせも来ている。いいアイデアなので文化協会の方々と計画をしていきたい。

質問 ②

まちづくりで金魚は重要な位置づけだ。金魚は夏の季語だが、夏を迎える時期に恒例行事にできないか。

答弁 ②

俳句を通して町をもっとPRしろと提案された。来年の金魚と鯉の郷まつの時にでも検討したい。

その後

昨年の金魚と鯉の郷まつりに際し、町のホームページで俳句を募集し、24人の方から64句の投稿があり、優秀作2句を表彰した。今年も継続していくことになっている。

町民のひろば

町民の声

奉舞会

私たち奉舞会は公民館活動の一環として、日本の古典を踊りを通して理解し、また、健康を守り将来へ引き継ぐ等の趣意から始めました。毎月第4土曜日の14時～16時に中央公民館で行い、授業料は無料です。現在15名で楽しんでいます。童謡、歌謡曲等も取り入れ、楽しい時間です。どうぞ気楽に見においでください。お待ちしております。特にお子さんたちの参加の多いことを希望します。



傍聴席から一言

町議会等、今までは無縁なものと思っていましたが、今回、勧められて初めて傍聴してみました。傍聴してみると、議員の方は、質問することの準備、勉強、研究等を充分され質問に当たっていること、また、町執行部は、議員の多岐な質問に対する、一問一答の慎重な答弁で対応され、それぞれの立場で苦勞されている様子が分かりました。

今回、傍聴したことで、議会における質疑応答が、こんなにも大変なものなのかと、議会は町のために知恵を出し合う場であるのだと実感し、町議会のあり方が少し分かったような気がします。

高本 茂実さん（腹赤新町区）



ひとこと

「平成が始まったのは1989年1月8日。昭和から平成の改元のきっかけは天皇陛下の崩御であった。しかし今回の改元はビデオメッセージによる陛下の訴えと、それを受け止めた国民の共感によってもたらされた。平成への惜別と次の時代への期待感の中でそのときを迎えようとしている。これらの数年間は、日本の歴

史に新たな1ページが刻まれるような大きな出来事が予定されている。本町がどのように変化していくか、しっかりと見定めていきたい。」
(磯野)

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は

3月11日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

発行責任者

議長 徳永 範昭

委員 福永 栄助

委員 磯野 博

委員 荒木 睦子

委員 大森 秀久

委員 中川 雅明

副委員長 前田美和子

広報委員 濱村 芳光